

H₂O.ai

Inverse Estimation of trained Driverless Al model

- Driverless AIモデルの逆問題解析 -

H2O.ai

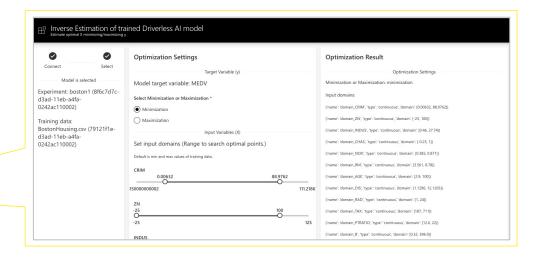
- 予測モデル(y = f(X))の作成
- スコアリングの実施



スコアリング用イン プットの連携 スコアリング結果の 連携



- App画面
- 最適化計算の実施



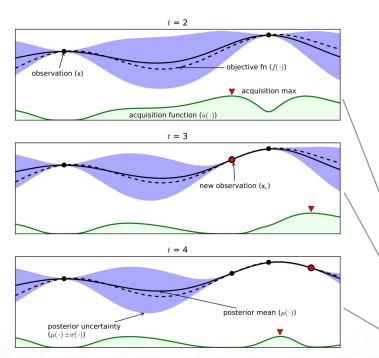
【逆問題解析】

作成した予測モデル(y = f(X))において、ターゲット変数(y)を最大化・最小化する入力変数(X)の値を計算する

【参考】ベイズ最適化



1次元インプット、最大値探索の例



--(黒の破線、ƒ(・))

➤ 探索対象のBlack Box関数(Driverless AIモデル)

ー (黒の実線、μ(・))

- ▶ 代理関数(Black Box関数に代わってその形状を求め、最大値を探索する)
- ト 代理関数にはガウス過程(関数が分布として得られ、推定の不確かさが表現できる($\mu(\cdot)$ ± $\sigma(\cdot)$))が用いられ、新しいデータ(インプットとそれに対応するBlack Box関数のアウトプット)が取得されるたびに分布が更新される

─(緑の実線、u(·))

- > Acquisition関数(最大になる値に対応するインプットが、次に探索するインプットの値(そのインプットの時のBlack Box関数のアウトプットを計算))
- ▶ 代理関数の最大値と、その分布の不確かさ(紫の影の部分)を元に関数の形状が決定
- 関数の形状を決める方法として、Maximum Probability of Improvement、Expected Improvement、Lower/Upper Confidence Boundといったものがある

現時点でのデータ(2つの黒い点)からガウス過程を推定し、それに基づいた Acquisition関数を計算。Acquisition関数が最大となるインプットを算出(赤い三角)

新しく観測したものを加えたデータ(2つの黒い点と1つの赤い点)からガウス過程を推定、それに基づいたAcquisition関数を計算。Acquisition関数が最大となるインプットを算出(赤い三角)

上記を繰り返す。

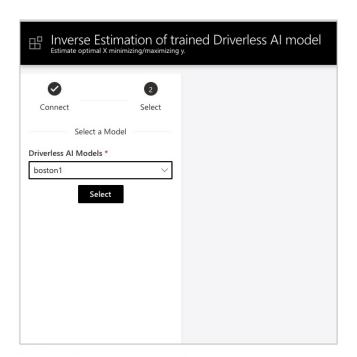
(イテレーション回数の上限や収束制約等に達するまで繰り返しを実施)

Step1: Driverless Alへの接続



Inverse Estimation of trained Driverless AI model Estimate optimal X minimizing/maximizing y.		
Connect	2 Select	
Connect to Da	Al	
i This app is not connected to DAI!		
Driverlss AI URL *		
http://52.202.108.180		
Driverless AI Username *		
h2oai		
Driverless AI Password *		
•••••		
Connect		
	_	

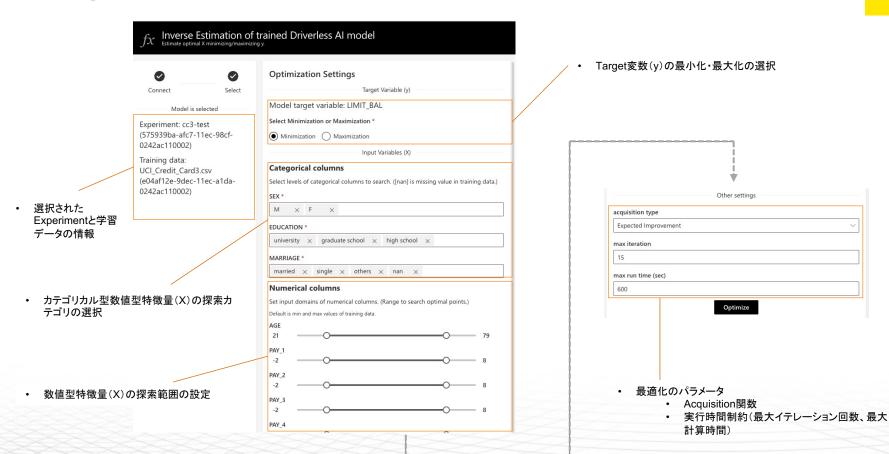
Driverless AIと接続



• 学習済みモデル(Experiment)の指定

Step2: 最適化計算の設定





Step3: 最適化の結果



